

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020100		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	献血推進事業		予算事業名			優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
		施策名(中)	地域医療の充実を図る		担当課長	三浦 貴史		担当者名	中山 基恵
		取組み事項	地域医療体制を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		安全な血液製剤の安全供給の確保に関する法律							
事業の目的	誰のために(具体的に)	病気や怪我の患者の治療のための血液を必要とする市民							
	誰(何)を対象として	健康な16歳から69歳までの市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県の計画献血による献血の推進							

2 事業の概要 Do

実施の概要		年3回、姫路血液センターの献血車により、福祉会館前において、献血を実施。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	献血量	ml	56,600	62600	69800	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.076	173	0.076	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.020	50	0.040	200	
支出内訳	人件費	816,064	807,596	99	987,349	122	977,713	99	
	事業費			-		-		-	
	合計	816,064	807,596	99	987,349	122	977,713	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	816,064	807,596	99	987,349	122	977,713	99	
合計		816,064	807,596	99	987,349	122	977,713	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		献血者数							
指標説明(式)		200ml・400ml献血者の計							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	150	100.0	150	100.0	
	実績	147	163	110.9	173	106.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

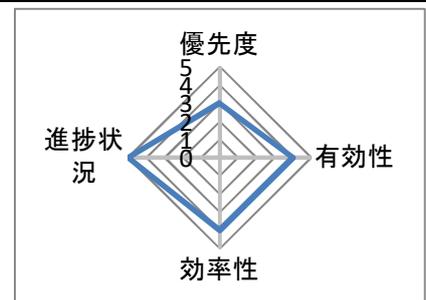
指標名1		目標献血量							
指標説明(式)		1回あたり献血量目標単位=95単位(1単位=200ml)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
単位	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	94	104	110.6	116	111.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	献血者の増加	4
効率性	手段の最適性	献血車1台あたりの献血量の確保	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	献血者数、献血量は、計画どおり確保できた。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	引き続き献血の啓発を継続して行う必要がある。



配点	25
総合評価	19

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	市民カレンダーや広報紙等に掲載し、周知と啓発を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020200		事業の種類	2		
年度	1	事務事業名	救急医療施設運営事業		予算事業名	救急医療施設運営事業	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
		施策名(中)	地域医療の充実を図る		担当課長	三浦 貴史	担当者名	中山 基恵
		取組み事項	地域医療体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		救急医療対策事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	夜間及び診療時間外での急病者等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急医療施設運営により、緊急時の診療体制の確保。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		夜間及び休日の緊急時の診療体制を確保するため、在宅当番医制(一次)・病院群輪番制(二次)により運営。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	休日急患診療受診者	人	718	784	746	
	病院群輪番制受診者	人	409	393	398	
	小児科救急医療受診者	人	586	475	480	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.080	286	0.080	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.020	50	0.012	60	
支出内訳	人件費	692,576	688,652	99	1,016,909	148	966,765	95	
	事業費	18,955,470	19,102,440	101	19,459,410	102	19,076,000	98	
	合計	19,648,046	19,791,092	101	20,476,319	103	20,042,765	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	916,000	934,000	102	952,000	102	916,000	96	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,732,046	18,857,092	101	19,524,319	104	19,126,765	98	
合計	19,648,046	19,791,092	101	20,476,319	103	20,042,765	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ受診者数(人)							
指標説明(式)		夜間及び診療時間外時の急病等による受診者の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,000	1,900	95.0	1,800	94.7	1,700	94.4	
	実績	1,713	1,652	96.4	1,624	98.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

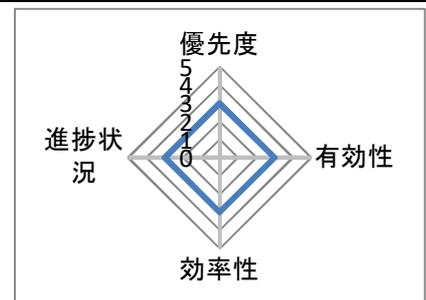
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	夜間及び休日における診療体制の確保により市民が安心して暮らせる。	3
	市民サービス	夜間及び休日における診療体制の確保により救急医療が受けられ、大事に至らず安心感が得られる。	
効率性	負担割合の適正化	相生市・赤穂市・上郡町の2市1町の人口に対する負担割合である。	3
	手段の最適性	医師会に運営委託。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定した受診者数であった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急において、夜間及び休日の受け入れに空白日がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急受け入れ空白日解消のため、中播磨圏域との連携を強化する。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	小児救急空白日の医療体制の解消				
見直事項	小児科医を確保し、輪番制当番日の空白を解消するとともに、中播磨圏域との連携を強化する。また、軽症患者の二次救急医療機関集中受診の緩和を図るため、兵庫県小児救急電話相談に併せ、姫路市救急医療電話相談の対象範囲が平成30年度より西播磨圏域まで広がったことにより、電話相談の活用を定着させていく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020300		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業	予算事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		地域医療の充実を図る		担当課長	三浦 貴史	担当者名	中山 基恵
取組み事項		地域医療体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	20代、30代の若年の末期がん患者					
	誰(何)を対象として	治癒を目的とした治療を行わない20代、30代の若年の末期がん患者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を送れるよう、在宅における生活を支援する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		治癒を目的とした治療を行わない20代、30代の若年の末期がん患者の訪問介護及び福祉用具の貸与にかかる利用料の一部を助成					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	助成件数	人	1	1	0	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.028	-	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員		0.012	-	0.056	467	0.064	114	
	臨時職員		0.020	-	0.008	40	0.004	50	
支出内訳	人件費		514,328	-	808,949	157	835,117	103	
	事業費		108,990	-	0	0	324,000	-	
	合計		623,318	-	808,949	130	1,159,117	143	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		623,318	-	808,949	130	1,159,117	143	
	合計		623,318	-	808,949	130	1,159,117	143	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	2	66.7	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

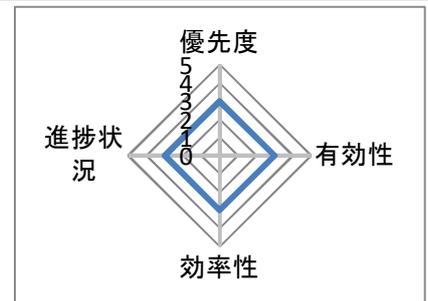
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	サービスに係る費用が高額であるため、利用者の自己負担に併せて、市が利用料の1割相当額を月6万円を限度として助成することで、費用負担の軽減が図れる。	3
効率性	手段の最適性	利用者は、サービスの利用が終われば、自己負担を除いた利用料を助成するが、利用期間中は月単位でも助成が可能である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者はなかったが、サービス提供準備は計画とおりに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	利用実績なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	サービスの周知

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	利用対象者は極めて少数であるが、サービスを必要としている方に迅速に提供できるよう関係機関と連携していくことが重要である。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101030100		事業の種類	3		
年度	1	事務事業名	病院管理事務事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院			
施策名(中)		地域医療の充実を図る		担当課長	後藤	担当者名	後藤	
取組み事項		安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	病院管理等を行うすべての関係職員						
	誰(何)を対象として	病院管理等を行うすべての関係職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院として健全経営を目指し、職員の定員管理をはじめ、医事管理業務並びに施設管理を適正かつ効率的・効果的に行い経営の透明性を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正な職員定数・医事管理を行い、事務処理等の透明性を確保する。また、施設管理等の諸経費の節減や見直しを図り、持続可能な維持管理に努める。(金額は税込)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	職員の適正配置	人	39	37	46	48
	保守委託の精査	千円	63225	62313	70663	70000
	時間外勤務手当削減	千円	4040	5736	4065	4000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
支出内訳	人件費	5,547,112	5,471,240	99	5,344,709	98	4,828,961	90	
	事業費			-		-		-	
	合計	5,547,112	5,471,240	99	5,344,709	98	4,828,961	90	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,547,112	5,471,240	99	5,344,709	98	4,828,961	90	
合計	5,547,112	5,471,240	99	5,344,709	98	4,828,961	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		病院事業費用経費							
指標説明(式)		医業費用のうち経費部分の経費(税込)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	169099	166951	98.7	162554	97.4	175174	107.8	
	実績	153372	153644	100.2	157376	102.4			
指標名2		職員数の適正化							
指標説明(式)		看護師の配置は、10:1及び13:1体制で35床を届出基準としている。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	41	40	97.6	45	112.5	48	106.7	
	実績	39	37	94.9	46	124.3			

【効率性】

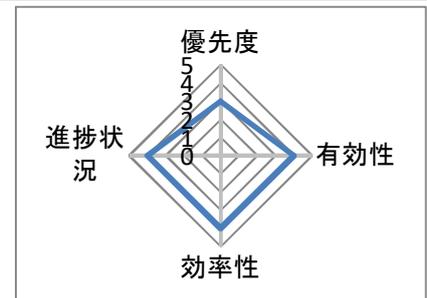
指標名1		職員給与費比率							
指標説明(式)		職員給与費÷医業収益×100(職員数等の適否を示す。)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	45.4	45.4	100.0	45.4	100.0	44.3	97.6	
	実績	52.3	51.3	98.1	46.2	90.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	職員のコスト意識を喚起するため、院内運営委員会において経営状況を共有するとともに、各科での課題を院内で議論し、経営改善に努めた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正な医事管理業務を行った。また、医療法等の関係法令を順守し、適切な諸手続きを行った。	
効率性	執行体制の効率性	臨時職員・パート職員の活用を図るとともに、院内の業務分担を見直し、看護師の業務負担軽減を図った。	4
	コストの節減	診療材料や委託業務等について、見積もり合わせによるコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域包括ケア病床の導入により理学療法士の採用、看護職員の増加となったが、医業収益も増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域包括ケア病床導入により稼働率が上昇しているため医療スタッフの負担が増加している。



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	看護師の増員を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101030200		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	病院運営事務事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院			
施策名(中)	地域医療の充実を図る		担当課長	後藤	担当者名	後藤	
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院としての健全経営を確保し、効率・継続的な病院運営により、地域住民に信頼される安全・安心で質の高い医療提供を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全・安心で良質な医療を提供するために、病院機能の充実強化、常勤医師の確保等医療提供体制の整備をはじめ、サービスアップの推進など積極的な改革を行い経営の健全化、安定した経営基盤の確立を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	経常収支比率	%	96.2	95.3	98.3	100
	医業収支比率	%	83.9	83.7	89.9	91.1
	病床の有効活用	%	72.2	72.1	73.3	88
	一般会計繰入金	千円	81444	80173	64455	64000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	1.500	1.500	100	1.500	100	1.500	100	
支出内訳	人件費	8,181,112	8,240,240	101	7,894,709	96	6,290,961	80	
	事業費			-		-		-	
	合計	8,181,112	8,240,240	101	7,894,709	96	6,290,961	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,181,112	8,240,240	101	7,894,709	96	6,290,961	80	
	合計	8,181,112	8,240,240	101	7,894,709	96	6,290,961	80	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経常収支比率							
指標説明(式)		経常収益÷経常費用×100(税抜き)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97.4	97.6	100.2	97.8	100.2	100	102.2	
	実績	96.2	95.3	99.1	98.3	103.1			
指標名2		医業収支比率							
指標説明(式)		医業収益÷医業費用×100(税抜き)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	87.5	87.8	100.3	88.0	100.2	91.1	103.5	
	実績	83.9	83.7	99.8	89.9	107.4			

【効率性】

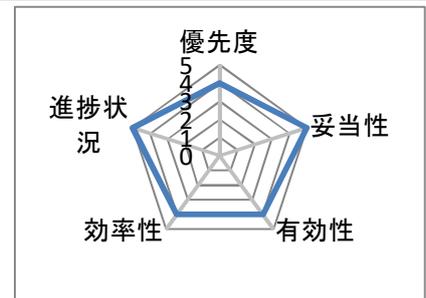
指標名1		稼働病床利用率							
指標説明(式)		入院患者数÷(35床×365日)×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	79.7	80.0	100.4	80.9	101.1	88.0	108.8	
	実績	72.2	72.1	99.9	73.3	101.7			
指標名2		1日平均外来患者数							
指標説明(式)		外来患者延数÷外来診療日数 ※平成28年度は293日/年							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	50.0	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	49.9	49.5	99.2	50.7	102.4			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各評価指標について、目標値に近づいた。	4
	市民サービス	自治体病院は、安全・安心な医療提供を一層求められる。ヒヤリハット等の検証・防止を確実にいき、医療の安全確保に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	看護配置を適正に行い、他科との業務分担についても常に改善した。	4
	手段の最適性	病床転換により診療点数の増加を図り、経営改善に繋げた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	病床稼働率が上昇した。 病床転換により経営改善を図った。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域包括ケア病床の適正な運営に務める必要がある



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	訪問リハビリの実施

配点	32.5
総合評価	28.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	休床中の病床の再稼働について検討する				
見直事項					
新規事項	新相生市民病院改革プランの期間終了に伴う新たな計画の策定				
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010100		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	保健対策推進事業		予算事業名	保健対策推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦 貴史	担当者名 三木 由紀
		取組み事項	健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域保健法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民の健康づくり及び歯科保健の推進					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の健康づくりや歯科保健に対する総合的な把握と基本的な施策を協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		あいのまち あいおい 健康プラン21(第3次相生市健康増進計画・第3次相生市食育推進計画・いのち支える相生市自殺対策計画)を策定し、それにそって、地域、関係団体、行政等が連携をして、健康づくり事業を総合的かつ計画的に行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	健康づくり推進協議会	開催回数	1	1	1	1	
	歯科保健推進協議会	開催回数	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.172	0.220	128	0.340	155	0.372	109	
	臨時職員	0.046		0	0.020	-	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,819,772	2,005,220	110	2,938,309	147	3,167,585	108	
	事業費	425,000	380,000	89	350,000	92	385,000	110	
	合計	2,244,772	2,385,220	106	3,288,309	138	3,552,585	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,244,772	2,385,220	106	3,288,309	138	3,552,585	108	
合計	2,244,772	2,385,220	106	3,288,309	138	3,552,585	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		推進協議会協議会開催回数							
指標説明(式)		市民の健康に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議するための開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	2	2	100.0	1	50.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

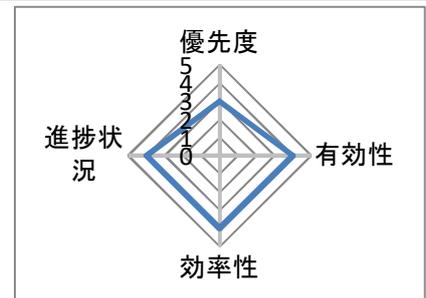
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	市民の健康づくりについて協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定している。	4
	成果目標(改善)達成度	あいのまち あいおい 健康プラン21の3つの計画の整合性を図りつつ、健康づくりを総合的に推進している。	
効率性	執行体制の効率性	相生市の健康づくりを総合的に推進するため、あいのまち あいおい 健康プラン21(相生市健康増進計画、相生市食育推進計画、いのち支える相生市自殺対策計画)を作成し、各協議会を合同で開催。	4
	コストの節減	各協議会を合同で実施することで、委員の報償費を削減	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	国・県からの情報を把握し、関係機関との連携を図る



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各協議会により審議された事柄を施策に反映する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	市民の健康づくり				
見直事項	年次ごとに計画の進行状況を把握するとともに、健康づくりに向けた取り組みの方向性を協議していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010300		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	健康づくり推進事業		予算事業名	健康づくり推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦 貴史	担当者名 石原 由佳
		取組み事項	健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域保健法、健康増進法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する主に39歳以下の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)胃がんリスク節目検診(30歳)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	基本健康診査	人	90	72	63	70
	がん検診	人	124	106	83	100
	胃がんリスク検診	人	33	34	2	20

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.176	0.366	208	0.356	97	0.348	98	
	臨時職員			-	0.024	-	0.020	83	
支出内訳	人件費	1,729,480	3,090,584	179	3,066,749	99	2,987,657	97	
	事業費	2,739,344	2,341,842	85	2,016,490	86	2,957,000	147	
	合計	4,468,824	5,432,426	122	5,083,239	94	5,944,657	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	611,400		0		-		-	
	一般財源	3,857,424	5,432,426	141	5,083,239	94	5,944,657	117	
合計	4,468,824	5,432,426	122	5,083,239	94	5,944,657	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		がん検診受診者数							
指標説明(式)		39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	170	85.0	120	70.6		4.0	
	実績	124	106	85.5	83	78.3			
指標名2		胃がんリスク検診(ABC検診)節目受診者数							
指標説明(式)		受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	20	40.0	
	実績	33	34	103.0	2	5.9			

【効率性】

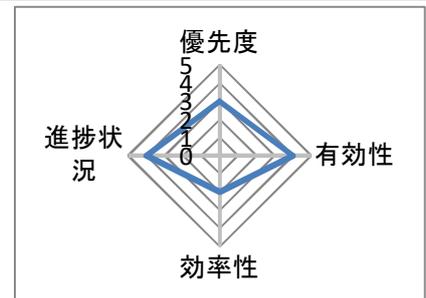
指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数がやや減少しているが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	4
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	2
	手段の最適性	1年度より、胃がんリスク検診の個別健診が廃止されたことで受診者が大幅に減少となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	胃がんリスク検診の認知度が低いこともあり、大幅に受診者の減少に繋がった。



配点	25
総合評価	16

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	乳幼児健康診査や子宮がん検診結果通知時にチラシを同封する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	節目対象者にたいし個別通知を行い、受診勧奨を実施する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010400		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	後期高齢者健康増進事業		予算事業名	後期高齢者健康増進事業		優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	石原 由佳	
		取組み事項	健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	基本健康診査	人	928	940	973	1000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.160	0.132	83	0.148	112	0.280	189	
	臨時職員			-	0.012	-	0.008	67	
支出内訳	人件費	1,605,992	1,351,028	84	1,499,029	111	2,460,317	164	
	事業費	4,707,014	4,967,760	106	5,288,680	106	5,464,000	103	
	合計	6,313,006	6,318,788	100	6,787,709	107	7,924,317	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,614,133		0		-		-	
	一般財源	1,698,873	6,318,788	372	6,787,709	107	7,924,317	117	
合計	6,313,006	6,318,788	100	6,787,709	107	7,924,317	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	928	940	101.3	973	103.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

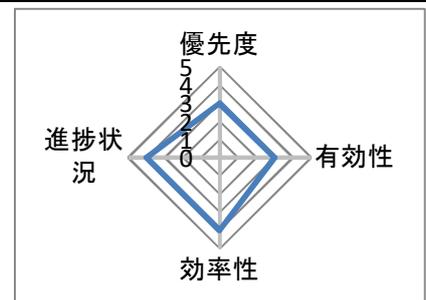
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集団健診は、基本健康診査と併せてがん検診等も同時受診ができる。また、受診時間の完全予約制による待ち時間の解消も合わせ、受診者数が少し増加した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	主口程の会場を扶桑電通なぎさホールにて実施したことにより、女中がフイヤーに実施することができた。遠方の地区には送迎バスを運行し、未受診とならないよう務めることができた。一部、従来通り外部の会場を希望され、昨年度は一会場のみ外部で実施する	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会場を変更したが、計画受診者同等の受診者数があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	外部会場は階段の勾配が強いため高齢者にとって負担がかかる。



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安全に健診を受診してもらえるよう自治体への説明と会場設定を行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	高齢者に負担なく安全に健診が実施できるようにする。				
見直事項	外部会場は、階段の勾配が強いなど移動に負担と危険性が伴う。安全面を考慮し、ワンフロアで健診が実施できる扶桑電通なぎさホールで全日程実施できるようにする。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010600		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	健康ポイント制度事業		予算事業名	健康ポイント制度事業		優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦 貴史		担当者名	藤本 理恵
		取組み事項	健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	20歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	20歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を促す。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		ポイントカードを配布し、健診受診や日々の運動等を実践したポイント達成者に記念品を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	ポイント達成者数	人	139	169	270	300	

3 投入資源

		会計区分			一般会計			事業費単位:円	
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.200	0.274	137	0.140	51	0.200	143	
	臨時職員	0.120	0.080	67	0.188	235	0.052	28	
支出内訳	人件費	2,230,792	2,628,176	118	1,888,709	72	1,924,885	102	
	事業費	251,570	349,250	139	305,930	88	386,000	126	
	合計	2,482,362	2,977,426	120	2,194,639	74	2,310,885	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,482,362	2,977,426	120	2,194,639	74	2,310,885	105	
合計	2,482,362	2,977,426	120	2,194,639	74	2,310,885	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポイント達成者数							
指標説明(式)		ポイント達成者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	200	66.7	200	100.0	300	150.0	
	実績	139	169	121.6	270	159.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

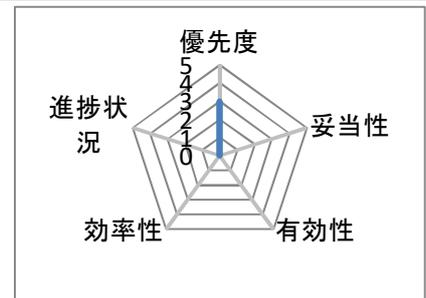
指標名1		1人当たりの事業費							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷達成者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	8,248	12,939	156.9	14,887	115.1	7,703	51.7	
	実績	17,859	17618	98.7	8,129	46.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ポイント達成者に記念品を贈呈することにより、さらなる意欲の向上を図った。	
効率性	コストの節減	参加者自らが運動等に取り組むため、事業費が抑制されており、取組み人員の増加により1人当たりの事業費コストを節減することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民への周知啓発に努めた結果、達成者数の増加が見込めた。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	達成者は増加しているが、より幅広い年代に拡大するよう、引き続き普及・啓発等を行っていく。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	達成者がより幅広い年代に拡大するよう、引き続き普及啓発を行っていく。

配点	32.5
総合評価	6

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	事業への参加者及び達成者を確保する。
見直し事項	市民へ定期的に普及・啓発できるよう、その他事業等も活用していく。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020100		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	健康増進事業	予算事業名	健康増進事業	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	三浦 貴史	担当者名	石原 由佳
		取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		健康増進法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	40歳以上の市民(子宮がん検診は20歳以上)					
	誰(何)を対象として	40歳以上の市民(子宮がん検診は20歳以上)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康意識の向上、健康寿命の延伸及び介護予防					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康診査(がん検診、歯周疾患健診、骨粗鬆症検診)、健康教育(集団健康教育)、健康相談(重点健康相談、総合健康相談)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	健康診査	人	8899	7230	7736	7800
	健康相談	人	1673	658	812	850
	集団健康教育	人	169	212	268	270

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.662	0.676	102	0.224	33	0.384	171	
	臨時職員	0.072	0.020	28	0.082	410	0.090	110	
支出内訳	人件費	5,670,076	5,450,504	96	2,239,169	41	3,359,889	150	
	事業費	24,794,712	25,127,786	101	21,633,255	86	28,391,000	131	
	合計	30,464,788	30,578,290	100	23,872,424	78	31,750,889	133	
財源内訳	国庫支出金	158,000	137,000	87		0		-	
	県支出金	1,841,000	1,521,000	83		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,725,700	3,996,857	85		0		-	
	一般財源	23,740,088	24,923,433	105	23,872,424	96	31,750,889	133	
合計	30,464,788	30,578,290	100	23,872,424	78	31,750,889	133		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子宮がん検診							
指標説明(式)		受診率							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	24	120.0	
	実績	8.4	20.9	248.8	11.8	56.5			
指標名2		子宮がん検診受診者数(集団)							
指標説明(式)		生活習慣病健康診査同時子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	60	120	200.0	120	100.0	130	108.3	
	実績	78	111	142.3	141	127.0			

【効率性】

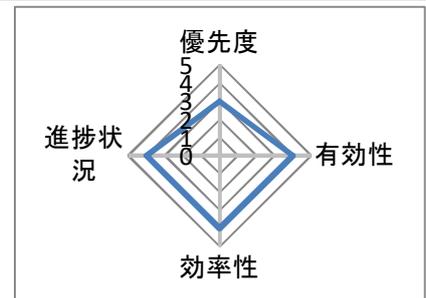
指標名1		子宮がん検診受診者数(個別)							
指標説明(式)		医療機関における子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
数	目標	600	550	91.7	580	105.5	600	103.4	
	実績	478	492	102.9	515	104.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	31	31	100.0		0.0		-	
	実績	31		0.0		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	健康増進法等に合致する内容で、柔軟に対応ができています。	4
	市民サービス	生活習慣病健康診査と同時実施できる日を新たに設け、市民サービスにつなげた。	
効率性	手段の最適性	子宮がん検診については、姫路市、赤穂郡、たつの市・太子町医師会と引き続き事業実施委託契約を締結し、受診医療機関の充実を図るとともに、周知に務めることができました。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き分娩した医療機関で受診ができるよう受診機会の拡大を図れた。また集団健診と同時実施することで受診率が徐々に向上してきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新規受診者を取り込む



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	個別通知時に名入れの問診票を送付し、受診の意識付けを行い新規受診者を取り込む。また医療機関にポスターを掲示し、周知を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	集団健診にて子宮がん検診の同時実施日の拡大を検討していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020200		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	健康づくり推進事業		予算事業名	健康づくり推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦 貴史	担当者名 石原 由佳
		取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域保健法、健康増進法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する主に39歳以下の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)胃がんリスク節目検診(30歳)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	基本健康診査	人	90	72	63	70
	がん検診	人	124	106	83	100
	胃がんリスク検診	人	33	34	2	20

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.176	0.366	208	0.356	97	0.348	98	
	臨時職員			-	0.024	-	0.020	83	
支出内訳	人件費	1,729,480	3,090,584	179	3,066,749	99	2,987,657	97	
	事業費	2,739,344	2,341,842	85	2,016,490	86	2,957,000	147	
	合計	4,468,824	5,432,426	122	5,083,239	94	5,944,657	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	611,400		0		-		-	
	一般財源	3,857,424	5,432,426	141	5,083,239	94	5,944,657	117	
合計	4,468,824	5,432,426	122	5,083,239	94	5,944,657	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		がん検診受診者数							
指標説明(式)		39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	170	85.0	120	70.6		0.0	
	実績	124	106	85.5	83	78.3			
指標名2		胃がんリスク検診(ABC検診)節目受診者数							
指標説明(式)		受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	20	40.0	
	実績	33	34	103.0	2	5.9			

【効率性】

指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			

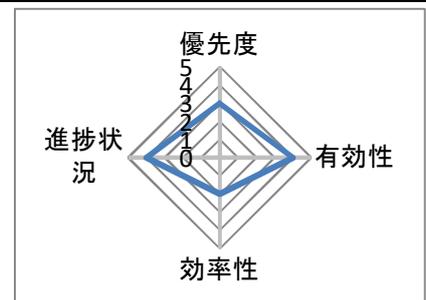
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数がやや減少しているが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	4
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	2
	手段の最適性	1年度より、胃がんリスク検診の個別健診が廃止されたことで受診者が大幅に減少となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	胃がんリスク検診の認知度が低いこともあり、大幅に受診者の減少に繋がった。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	乳幼児健康診査や子宮がん検診結果通知時にチラシを同封する。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	節目対象者にたいし個別通知を行い、受診勧奨を実施する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020300		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	後期高齢者健康増進事業		予算事業名	後期高齢者健康増進事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	三浦 貴史	
		取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する		担当者名	石原 由佳	
					実施計画への記載	無	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	基本健康診査	人	928	940	973	1000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.160	0.132	83	0.148	112	0.280	189	
	臨時職員			-	0.012	-	0.008	67	
支出内訳	人件費	1,605,992	1,351,028	84	1,499,029	111	2,460,317	164	
	事業費	4,707,014	4,967,760	106	5,288,680	106	5,464,000	103	
	合計	6,313,006	6,318,788	100	6,787,709	107	7,924,317	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,614,133		0		-		-	
	一般財源	1,698,873	6,318,788	372	6,787,709	107	7,924,317	117	
合計	6,313,006	6,318,788	100	6,787,709	107	7,924,317	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	928	940	101.3	973	103.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

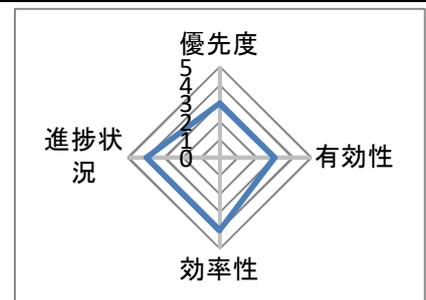
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集団健診は、基本健康診査と併せてがん検診等も同時受診ができる。また、受診時間の完全予約制による待ち時間の解消も合わせ、受診者数が少し増加した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	主口程の会場を扶桑電通なぎさホールにて実施したことにより、女中がフイヤーに実施することができた。遠方の地区には送迎バスを運行し、未受診とならないよう務めることができた。一部、従来通り外部の会場を希望され、昨年度は一会場のみ外部で実施する	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会場を変更したが、計画受診者同等の受診者数があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	外部会場は階段の勾配が強いため高齢者にとって負担がかかる。



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安全に健診を受診してもらえるよう自治体への説明と会場設定を行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	高齢者に負担なく安全に健診が実施できるようにする。				
見直事項	外部会場は、階段の勾配が強いため移動に負担と危険性が伴う。安全面を考慮し、ワンフロアで健診が実施できる扶桑電通なぎさホールで全日程実施できるようにする。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030100		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	予防接種事業		予算事業名	予防接種事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	三浦 貴史	担当者名	山下 恵	
取組み事項		感染症のまんえんを予防する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		予防接種法・結核予防法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民全体(免疫水準の維持)							
	誰(何)を対象として	接種対象者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	予防接種を受け、健康を維持することができる。市民全体の免疫水準を維持することができる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		定期予防接種A類(風しん・麻しん・日本脳炎・4種混合・3種混合・2種混合・不活化ポリオ、BCG、小児肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん予防、水痘)、定期予防接種B類(インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌)を実施する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	定期予防接種A類	%	64.6	67.2	62.0	100	
	定期予防接種B類	%	45.7	45.7	45.4	50	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.240	0.260	108	0.276	106	0.346	125	
	臨時職員	0.420	0.232	55	0.197	85	0.228	116	
支出内訳	人件費	3,329,712	2,944,988	88	2,916,699	99	3,276,759	112	
	事業費	62,839,888	62,617,172	100	65,043,640	104	81,683,000	126	
	合計	66,169,600	65,562,160	99	67,960,339	104	84,959,759	125	
財源内訳	国庫支出金			-	2,099,000	-	0	0	
	県支出金			-	0	-	0	-	
	市債			-	0	-	0	-	
	その他			-	0	-	0	-	
	一般財源	66,169,600	65,562,160	99	65,861,339	100	84,959,759	129	
合計	66,169,600	65,562,160	99	67,960,339	104	84,959,759	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		予防接種A類接種率							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数)×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	64.6	67.2	104.0	62.0	92.3			
指標名2		予防接種B類接種率							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数)×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	50	83.3	
	実績	45.7	45.7	100.0	45.4	99.3			

【効率性】

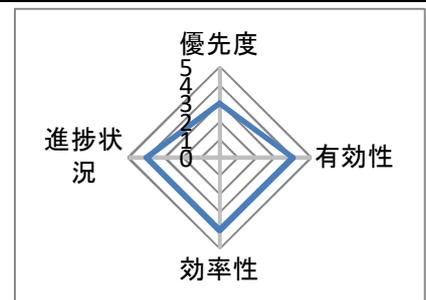
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	改正に合わせて、迅速な対応ができ、予防接種法等に合致する内容で実施できている。	4
	成果目標(改善)達成度	予防接種B類については経過措置期間延長もあり、対象者の認識が低い。また年度末に向けて新型コロナウイルス感染症により病院を敬遠していたことも影響が考えられ、A類B類ともに減少傾向。	
効率性	執行体制の効率性	予防接種A類については個別用タックシール使用により、接種回数の見落としや誤りを防ぐことができています。B類については個別勧奨しているが年度末に向けて新型コロナウイルス感染症により病院を敬遠していたことも影響していると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	前年度に比べA類B類ともに、新型コロナウイルス感染症による病院敬遠も影響し、減少傾向にある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	勧奨の機会を捉え、引き続き対象者への効率的かつ有効な周知が必要。



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	勧奨の機会を捉え、引き続き対象者への効率的かつ有効な周知をする。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030200		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	感染症予防事業		予算事業名	感染症予防事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	三浦 貴史		担当者名	中山 基恵
取組み事項		感染症のまんえんを予防する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	感染症発生の疑いのある者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	感染症発生及びそのまん延の防止を図り、公衆衛生の向上を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		感染症予防に関する広報、ポスター等の掲示による啓発を実施した。							
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画			
	消毒剤の購入量	袋	0	0	0	24			

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.040	0.032	80	0.188	588	0.164	87	
	臨時職員	0.032	0.020	63	0.080	400	0.020	25	
支出内訳	人件費	764,120	663,008	87	1,968,029	297	1,608,209	82	
	事業費	2,268	0	0	0	-	71,000	-	
	合計	766,388	663,008	87	1,968,029	297	1,679,209	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	766,388	663,008	87	1,968,029	297	1,679,209	85	
合計	766,388	663,008	87	1,968,029	297	1,679,209	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

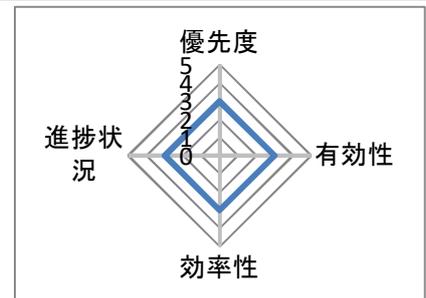
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	感染症の発生及びまん延を防止し、市民の健康を守る。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	感染症の発生及びまん延を防止する。	
効率性	コストの節減	感染症が発生しない限りコストも生じない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水害等による消毒用石灰が必要な災害は発生しなかった。コロナウイルス感染症が全国的に発生したが、相生市では感染者は発生していない。予防のための消毒液やマスク等は、危機管理係にて購入した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	新型コロナウイルス感染症のように、想定外の感染症に対応する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	水害等用の消毒石灰の準備だけでなく、想定外の感染症にも対応する必要がある、危機管理課と連携しながら事業を進める必要がある。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030300		事業の種類	5		
年度	1	事務事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業		予算事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課		
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治
		取組み事項	感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名						
		根拠法規及び関連法規	相生市公衆浴場整備改善資金利子補給補助金公布要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	公衆浴場経営者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公衆衛生の維持のために、市内唯一の公衆浴場の安定経営の維持						

2 事業の概要 Do

実施の概要		公衆浴場の数					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	施設数	件	1	1	1	1	
	※都湯: 相生地区						

3 投入資源

		一般会計			事業費単位: 円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.020	0.008	40	0.012	150	0.008	67	
	臨時職員	0.004		0		-		-	
支出内訳	人件費	536,008	429,212	80	463,389	108	409,437	88	
	事業費	0	0	-	0	-	1,000	-	
	合計	536,008	429,212	80	463,389	108	410,437	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	536,008	429,212	80	463,389	108	410,437	89	
合計	536,008	429,212	80	463,389	108	410,437	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位: 円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給対象借入件数							
指標説明(式)		H22年度まで 年間利子相当額の1/2づつを県市補助負担 H23年度から 利率1%超4%以内の利子額に対し県市1/2づつ補助							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	0	0.0	1	-	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

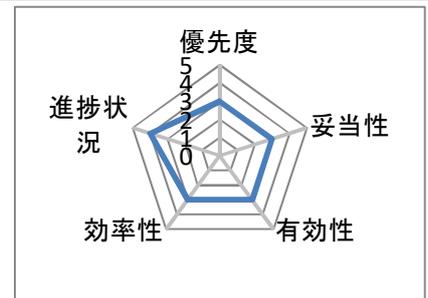
指標名1		県補助金							
指標説明(式)		利子補助額×1/2							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆浴場がある相生地区においては、高齢者世帯を中心に風呂がない借家や古い家屋が多くあり、ここ数年で利用者は減少傾向にあるが、需要がある限り公衆浴場存続の必要がある。	3
効率性	手段の最適性	本制度は、利用者も少なく、投資効果がない中での公衆浴場の改修を促すものであり、利用者の利便向上及び、事業者の経営安定のため、設備資金の借入に対する利子補給事業は最適な手段である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	風呂が設置されていない老朽家屋に住む世帯の衛生管理面からも、公衆浴場が存続している限り継続する必要がある。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030400		事業の種類	4				
年度	1	事務事業名	衛生害虫駆除事業		予算事業名	衛生害虫駆除事業		優先度	3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課				
		施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	森川拓平	
		取組み事項	感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	地域								
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常及び水害時等において、不快害虫を駆除・防除し、快適な生活環境を維持する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区清掃等に係る自治会への害虫駆除薬剤配布 (SV乳剤→水性サフロテン)								
活動実績	項目	単位	29年度実績		30年度実績		1年度実績		2年度計画	
		薬剤配布(自治会数)	件	10	16	11	20			

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.008	0.024	300	0.024	100	0.016	67	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	432,856	548,156	127	552,069	101	469,413	85	
	事業費	75,600	0	0	70,456	-	12,000	17	
	合計	508,456	548,156	108	622,525	114	481,413	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	508,456	548,156	108	622,525	114	481,413	77	
	合計	508,456	548,156	108	622,525	114	481,413	77	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		薬剤配布							
指標説明(式)		各自治会への配布本数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
本	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	10	16	160.0	11	68.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

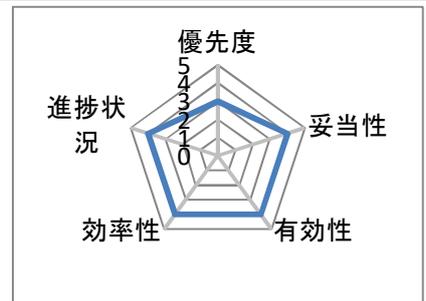
指標名1		薬剤購入							
指標説明(式)		薬剤購入費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	99,000	14000	14.1	96,000	685.7	12,000	12.5	
	実績	75600	0	0.0	70,456	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆衛生確保の観点から市民サービスの貢献に努めた。	4
効率性	執行体制の効率性	市は薬剤費の支出を受け持つが、薬剤散布にあたっては、地元自治会が自主的に実施するため、役務面でのコスト削減につながっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102040100		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	食育推進事業		予算事業名	食育推進事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	三浦 貴史		担当者名	三木 由紀
取組み事項		食育を推進する			実施計画への記載			主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		食育基本法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる							

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市食育推進計画を策定し、それにそって、地域、関係団体、保育所、幼稚園、学校、生産者、行政などが連携して食育活動を進める。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	食育推進協議会	開催回数	1	3	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.248	0.358	144	0.196	55	0.180	92	
	臨時職員			-	0.012	-		0	
支出内訳	人件費	2,285,176	3,031,112	133	1,853,749	61	1,698,921	92	
	事業費	52,028	8,425	16	15,248	181	39,000	256	
	合計	2,337,204	3,039,537	130	1,868,997	61	1,737,921	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,337,204	3,039,537	130	1,868,997	61	1,737,921	93	
合計	2,337,204	3,039,537	130	1,868,997	61	1,737,921	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市食育推進計画の取組の進捗状況							
指標説明(式)		前年度の目標の達成度							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	100	105.3	100	100.0	100	100.0	
	実績	95	95	100.0	95	100.0			
指標名2		相生市食育推進計画の指標と目標値							
指標説明(式)		達成状況(目標達成数+目標に近づいているが未達成)÷指標数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標		70	-		0.0		-	
	実績		50	-		0.0		-	

【効率性】

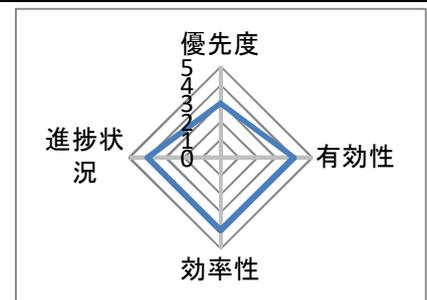
指標名1		相生市食育推進協議会開催回数							
指標説明(式)		市民の食育に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	3	300.0	1	33.3	1	100.0	
	実績	1	3	300.0	1	33.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市食育推進計画(第3次)にそって実施目標をたて、関係者等と連携をしながら取り組んでいる。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	相生市食育推進計画(第3次)は、国、県の食育推進計画を踏まえ推進するとともに、相生市子育て元気課の他の計画(健康増進計画、自殺対策計画)とも整合性を図りつつ食育を総合的に推進している。	
効率性	手段の最適性	市としての重点取組を決め、各担当課が同じ目標に向けて3年間取り組む。他部署、他団体と連携をしながら事業を行っている。	4
	執行体制の効率性	食育推進協議会、庁内食育会議、作業部会と食育の推進体制に沿って食育を推進することで、漏れなく活動を行うなど、効果的な体制、方法で事業を推進している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各担当課での食育の取組について共有をはかり、更なる連携が必要



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	3年間取り組むテーマを決め、各担当課、関係団体等連携をしながら活動し、事業の共有をはかる。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	食育活動が市民一人ひとりへと波及し、食育への取り組みが実践へとつながるよう取り組む。				
見直し事項	庁内食育会議の回数増加など更なる充実をはかる。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持